

（四）

長篇春秋 (三)

木蘇 穀

「赤道」——「赤道」

これは中西伊之助氏の長篇小説である。氏
が抱懐してゐるところの、70日シタリヤ思想心
を具體化した、松浦時夫といふ貴族の、その
思想の故の苦悩や、在野論や、革命や、絶望まで
を主題とした作品である。

明文

この作品は、その人物は、右の主人公と
初め、彼を北方の運命や、小作運動子玉
流って行つて、所謂者の舞への水先舟内とす
る大なる真といふ、松浦求の息子や、
以蘇城といふ子名前の、知海階級出身の労働運
動家や、お人車といふ子高き娼婦としてゐて、
松浦の妻とけこるる女や、はとい子男が討つ夫
人か、王様といふ子、楽園館くといふと知
ぬ、権謀術数と長けた牛増婦人か、その
その他、松浦時夫と西より考へて貴族の一族とか、